

「 さ さ え 」

2014年7月発行 情報誌 第48号

発行NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田4395(福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyougunit@sage.ocn.ne.jp

HP <http://www10.ocn.ne.jp/~npofynet/enter.htm>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 よしみ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目 13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

【商品名】自動排泄処理装置
尿吸引ロボ「ヒューマニー」



夜ぐっすり眠れるから
昼間頑張れる!



【発売元】ユニ・チャーム ヒューマンケア(株)

【商品名】床ずれ防止用ハイブリッドマットレス
「アルファプラ ソラ」

SORA



新発売
ハイブリッド型
車いす用クッション

【商品名】
アルファプラ
ソラ クッション



【発売元】(株)タイカ



特定非営利活動法人
NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい…」

シリーズ2 福祉用具メーカーから介護現場の皆様へ (株) タイカ ウェルネス用品部 部長 印南 裕之

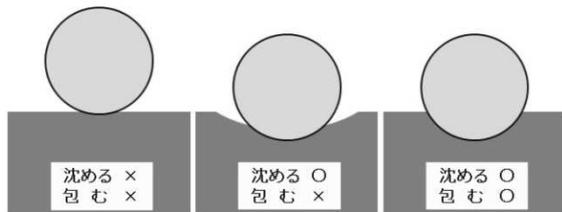
1. 介護用品売り場に行きたいですか？

量販店の介護用品売り場に魅力を感じますか？私は出来る限り行きたいとは思わない場所です。なぜなら「介護」というジャンルで括られ、隔離されたような寂しさを感じるからです。

要介護状態になることは至って普通のことですし、介護用品（福祉用具）も、できる限りこれまで通りの生活を続けたいと願うからこそ使うのです。自分の通常の生活の中で使われる用具が、隔離された売り場で自分とは関係のない“違和感のある”用具たちと一緒に置かれているのです。さらに予防的に使われる用具までそこに置かれているのは非常に残念なことです。例えば、床ずれ対策に使われる体圧分散マットレスなら寝具売り場に置かれている方が自然なのではないでしょうか。この意識は用具の開発についても同じことが言えます。私たちタイカは、ご利用者の生活を尊重し、健康に対して横断的な配慮がなされ、かつ生活実態に則した福祉用具開発を目指しています。

2. 体圧分散マットレスの役割と課題

タイカは体圧分散マットレスの開発・販売をしています。体圧分散マットレスとは、体重を広い面積で受ける機能によって局所にかかる圧力を軽減できる寝具です。その機能は様々な素材や構造によって付与されますが、基本的な考え方としては身体を「沈める」と「包む」ことによって接触面積を増やすものです。



体圧分散マットレスは主に床ずれ対策用として使用されています。日本褥瘡学会では「体圧分散マットレスを選ぶ際には、褥瘡発生リスクや褥瘡の状態に加えて、それを使用する人の寝心地や快適性などの主観も考慮することが重要」と警告しています。ここで「主観」と表現されているのは、寝心地や快適性に影響を与える要因が非常に多く、かつ複合的であるためでしょう。

厚生労働省が公表している介護給付費実態調査月報によると、体圧分散マットレス（介護保険のカテゴリでは床ずれ防止用具）が多くの要介護度に

わたって使用されていることが判ります。

総数	介護予防サービス		介護サービス				
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
221,000	200	1,100	4,000	21,300	30,300	61,100	102,900

単位:件

貸与件数の53.4%が要介護4以下であることから、体圧分散マットレスを使用している方にはADLが高い方もおり、求められる機能も多岐にわたっていることが想像できます。こうしたご利用者の生活を支え、主観に応えられるマットレスの役割について整理すると次のようになります。

①寝具の役割

質の良い睡眠は生活にリズムを与え身体的、精神的活力を生み出します。

②離床動作の役割

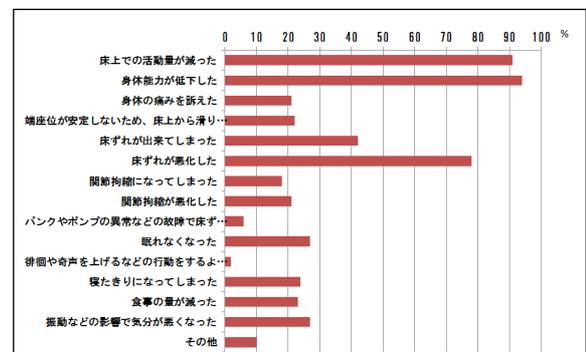
ADLが比較的高い方にとって、寝返り、起き上がり、立ち上がりなどの動作が無理なく行えることが必要です。

③床上動作の役割

ADLが落ちてきた方にとって、ベッド（マットレス）の上は生活の場です。寝るだけでなく、食事や呼吸をしやすい姿勢がとれ、ポジショニングがしやすいなど、床上の生活を妨げずサポートできることが大切です。

3. 現場の声

タイカが外部の調査機関に依頼して得たアンケート結果によると、在宅ではエアマットレスを使用して運動能力の低下を招いたケースが多い事が判りました。アンケートは全国のケアマネジャー576名に実施し、そのうち42.7%にあたる246名が「エアマットレスを使用してご利用者の状態が悪化した経験を持つ」と答えています。



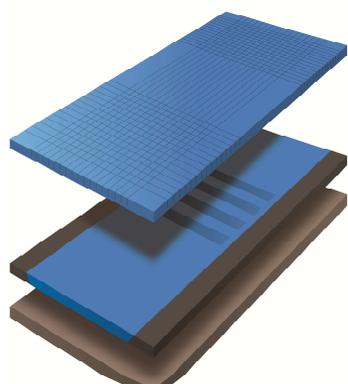
「床上での活動量が減った」が91%、「身体能力が低下した」が94%と高いことが判ります。エアマットレスが在宅で適切に選択かつ使用されているか否かが疑問ではありますが、この結果からは少なく

とも体圧分散マットレスに求められる機能として体圧分散性能の他に動きやすさも重要であることが読み取れます。しかし、体圧分散性能と動きやすさを両立させるのは難しいテーマです。なぜなら体圧分散マットレスは、身体を「沈める」「包む」という機能を持たせる目的で柔らかくする必要がありますためです。柔らかく沈み込むマットレスでは、身体が穴にはまり込んだ状態になる上、手をつくところも柔らかい状態になり身体を動かすのに筋力を要します。そういった弊害は、筋力が弱くなった方の場合にはさらに深刻です。

4. 逆転の発想によるマットレス開発の実例

体圧分散マットレス＝柔らかい。この常識を打ち破らない限り、ご利用者の快適な生活をサポートできるマットレスが開発できません。そこで、これまでの“体圧分散性能からのアプローチ”ではなく、“動きやすさからのアプローチ”に変更しました。

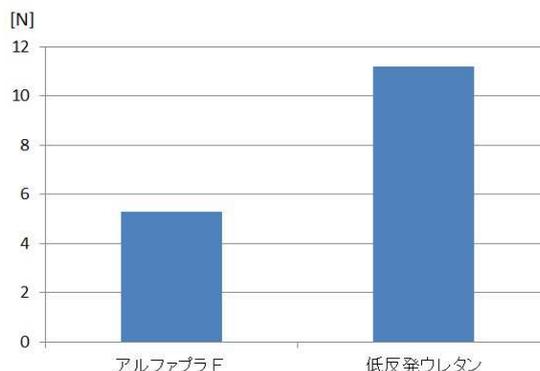
これまで体圧分散マットレスで常識的に使用されていたのは柔らかい低反発ウレタンフォームです。しかし、動きやすさにおいて効果的なのは、むしろ高反発（高弾性）ウレタンフォームなのです。この高反発ウレタンフォームに体圧分散性能を持たせることができれば、理想的なマットレスができます。こうして開発されたのが「アルファプラ F」です。



「アルファプラ F」は高反発ウレタンフォームの弾性によって床上の動きをサポートします。それは砲丸を使った実験で体感することができます。「アルファプラ F」に乗せた砲丸を押し動かす時に必要な力は、低反発ウレタンフォームのそのの47.4%で済みます。



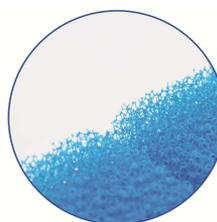
左：アルファプラ F 右：低反発ウレタン



また、高反発ウレタンフォームの表面に、4cm×4cmのキュービック状スリットを入れることで高い体圧分散性能を持たせました。これにより、身体がマットレスに沈みにくい低体重（BMI 18.5未満）の方でも十分な体圧分散ができます。



無膜フォームを使用していることで通気性がよく、蒸れにくいため快適性も向上しました。



5. エビデンスに囚われない努力も！

ご利用者が使用する福祉用具を選択する際、ご利用者の身体状況や生活実態に加えて介護力も考慮する必要があります。特に在宅の場合は、ご利用者の環境をアセスメントすることが大切ですが、現段階ではそういったアセスメントツールは整備されていません。今後さらに研究が進みアセスメントが可能になるまでは、医療従事者、介護従事者、そして福祉用具従事者などが意識と経験によってご利用者の生活をサポートする「現場レベルの努力」が必要だと考えています。

タイカはこうしたご利用者とその環境の実態に合わせた、柔軟な発想による商品開発を今後も続けていきます。

NPO 福祉用具ネット 第1回交流会に参加報告

NPO 福祉用具ネット理事 左 広美 (福岡県立大学)

5月10日(土)に平成26年度NPO福祉用具ネットの定期総会終了後に「第1回交流会」が開催され、27名の参加がありました。テーマは『高齢者に対する美容ケア』についてでした。まずは、ナリス化粧品 谷都美子美容部長より、『介護サービス 新しい介護サービスの提案で差別化を考えましょう！』のテーマで介護現場への化粧・ハンドケア・フットケア・アロマ・ネイルケアなど新しい視点でのケアや、地域高齢者への介護予防事業としての提案がありました。

楽しい・こちよいいハンドマッサージの実技付きです。



谷 美容部長によるハンドマッサージの実演指導

谷部長からのレクチャーを受けた後、参加者同士でペアになりハンドマッサージタイムが開始。

ペアができ、最初はやや緊張気味だったものの、マッサージが進むにつれて次第に手のコリも心の緊張もほぐれてきたように感じました。谷部長の「無理に言葉を交わしたり、引き出したりせずとも寄り添ってマッサージをしていると次第に心が合わさってくる。」といった言葉が印象的でした。また、参加者からの感想では「こうして女性と向き合って手をマッサージしてもらえると、緊張感の中にもドキドキ感があってなかなか良い刺激になります。」といった言葉が寄せられました。このようなドキドキ感が血流を活発にし、脳にも良い刺激が与えられ、活動意欲がわいてきそうです。

こうして、ハンドマッサージを終え、心身ともにリラックスをしていよいよ本題の交流会で意見交換がされました。『「いつまでも、きれいでいたい」という気

持ち、「おしゃれをしたい」と思う気持ちはあきらめなければならないのでしょうか？美容に関するケアを介護現場に当たり前のケアとして定着させたい。』という、投げかけの言葉から意見交換が始まりました。

心身ともにリラックスしたおかげでしょうか、参加者の皆さんからは活発な意見が出されました。その中からいくつか紹介します。

◆介護施設では食事時間になるとお化粧品をして食堂にやってくる女性がいる。

◆緊急で入所した人は、落ち着いてくると、寝間着や整容に気を使うようになり、家から化粧品を持ってきてもらって自分でやるようになった。

◆80歳代後半の女性、最期にしてもらいたいことはないですかと尋ねると、「髪を染めてほしい」「髪をきちんと切ってもらいたい」といった。

以前はお化粧品を日常的にしていた方は、お化粧品をすることが自分らしさのひとつであったことでしょう。要介護者になり、なんとか自分の身の周りができる方は、自分でお化粧品を施せているようです。しかし、自分の身の周りのことができなくなってしまうと、たちまちお化粧品を我慢しなくてはいけなくなっているのではないのでしょうか。

交流会に参加した私がもった感想は、「私が要介護者になった時。やっぱり自分らしい生活を求めたい。」ということでした。当たり前のようなこの気持ち。ひょっとしたら、気づかないまま過ごしていたのかもしれない。気づけたということは、大収穫でした。ありがとうございます。



ペアで組んでハンドマッサージの体験中
マッサージ中は、自然と笑みがあふれました！

NPO 福祉用具ネット 2014 年度研修会講師のご案内

Part2 講師；浜田きよ子先生 (排泄用具の情報館「むつき庵」代表)

案内人；NPO 福祉用具ネット理事 朝比奈聡(グリーンコープやまぐち生活協同組合)

皆さんは浜田きよ子さんをご存じでしょうか？

今、排泄に関する事を学ぶなら浜田さんの研修を1度は受けてください。きっと浜田さんの魅力にはまることでしょう。

今回は少しだけ、浜田さんの研修を受けての話を書きたいと思います。

私が浜田さんの研修を最初に受けたのは今から18年前でした。当時はまだ介護保険制度の時代ではなく、いわゆる措置制度の時代でした。

その当時、研修会のスタッフや、研修生をモデルにして実際に紙おむつをはかせる研修などは他にはなかったことを浜田さんは研修会でされていました。一方で、施設や病院は紙おむつやパッドを何枚も重ね、利用者の都合でなく、病院や施設の都合でおむつ交換をしているところがほとんどでした。そのような中で、浜田さんの話はすごく印象にのこりました。その後、数回浜田さんの研修を受けることで、多くの知識と視点を学習していきました。

浜田さんは現在京都で、排泄総合研究所 むつき庵を開設されています。(今年10周年です)このむつき庵には、いろんな種類の紙おむつやパッドはもちろんのこと、ポータブルトイレや排泄に関連する用具、直接排泄には関係ないと思うような福祉用具まで展示されています。公設である介護・実習普及センターでもここまでされているところはなく、むしろ参考にして展示場のレイアウトをされているところもあります。

また、むつき庵ではおむつフitter講座を開講しています。(NPOでも次年度開催に向けて準備中)この研修のカリキュラムにもあるのですが、浜田さんの研修では必ずおむつを試着して、排尿してそのチャートを書く体験学習が必ずあります。

このおむつを履いて排尿をするのが、意外と難しいのです。段々なれてくると体内をアルコール消毒(ようするに飲酒・ビールが一番効果的)して臨むのですが、最初の頃はどれだけ飲んででもだせないものでした。つまり、この研修は利用している方の立場を理解するために、自らが経験することで、より理解を深め一人ひとりに寄り添う提案ができるようになるためです。

ところで、もし排泄がトイレまで行くのに間に合わない場合、あなたはどうか対処しますか？トイレに間

に合わなければ即おむつ、もしくはポータブルトイレというふうになりがちですが、実はトイレに行って排尿するまでには、いろんな原因があります。

そもそも尿意を感じない、もしくは遅いための場合にはおむつや自動排泄処理装置を使用することで。尿意を感じるが、歩いてはトイレまではいけない場合、ポータブルトイレを使用することもあるでしょう。

トイレの前まで行ったのだが、ドアノブが廻りにくいか、ドアが開けにくい。その場合は自助具や改修によってドアの開閉を簡単にすることで解決します。

トイレまで行ったのだけど、パンツの脱ぎはきが間に合わなかった・・・脱着しやすい衣服を使用すれば解決できます。と、いうように、トイレで排泄ができない場合でも、そこにはいろんな状況があるのです。問題を解決するためには様々な視点を元に対応を考えることが必要です。そんな視点を気付かせていただける研修会です。

もちろん、研修の中には、医学的なことも介護的なことの知識もおりませながら、多岐にわたる内容を研修できます。

気づきという点で、ある研修会ではとさせられました。男性は排泄行為をする場合性器をどこから出すのでしょうか？という問いです。当然のことながら、女性には理解できないところだと思います。男性は、その人の今までの生活習慣・体型、着ている衣服、もちろん障害や麻痺がある方はその症状によって、ズボンもパンツもそのままおろしてされる方、パンツの上・チャックを開けて、右から、左からと様々です。でも、その出し方がわからないと排泄のアドバイスもできないものです。

8月30日(土)にNPO福祉用具ネットでは浜田きよ子さんを招いて研修会を開催します。

5時間は長いと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、あっという間に終わってしまいます。NPO福祉用具ネットで開催したおむつフitter3級研修を受講された方が、京都まで行かれて2級研修を受講された方もいらっしゃいます。

浜田さんの研修は京都以外ではなかなか開催されません。この研修は基本中の基本、入り口です。是非、今回の研修を受け、おむつフitter研修にステップアップして受けてみてはいかがでしょうか？

今、思うこと。「福祉用具の開発に王道なし」

(その37)

NPO福祉用具ネット 理事 坂田 栄二

(九州ヘルスケア産業推進協議会 コーディネータ)

もしかして あなたは、お客さん？

2004年国際福祉機器展の会場。シャワーの展示は、今回で2年目になる。

「これですよ。これがいいんじゃないですか？」シャワーを手にとって2人で何やら相談中のスーツ姿の男達。

松原は、“また冷やかしか！”と身構えた。しかし、どうも様子が違うようだ。

年配の男性はシャワーヘッドを握りしめ、指でパチパチとコックを切替えて満足している様子だ。

「これはどこが扱っているんですか？」

若い方の男性が、松原に声を掛けてきた。

「私たちNPOが直接販売しているんですけど・・・」

松原は、どう答えてよいやら戸惑いながら答えた。

これまでの様子からどうやらその2人は、このシャワーを気に入っているようなので回答次第では、商売に結びつくかもしれないし、逆にがっかりさせるかもしれないと思うと、不安でならなかった。

しかし、相手からの次の言葉は意外なものだった。

「そうですか。それを聞いて安心しました。どれくらい売れているんですか？」

松原は、この質問にも困った。売れていないというと警戒されるし、売れていると言えばあきらめられるかもしれない。

ぼちぼち売ってます。

松原は、窮して、

「まあ・・・ぼちぼちですね。」

と大阪商人的に答えた。

このぼちぼちは、売れているのか売れてないのかよくわからない言葉だが、大阪商人の間で交わされる挨拶みたいなものだ。松原は、しばらく大阪で暮らした経験があるので、つい口にしたのだろう。

若い男性は、

「実は、・・・」

と本題を切り出して来た。

「これまで、シャワーを販売してきたのですが、製造元が生産を中止すると言ってきたので、その代替えをどうしようかと悩んでいるんです。」

供給が止まるまであまり日にちもないので、新しく開発する時間もないし、このままではお客さんに迷惑がかかるし、困っているんです。」

その言葉に、松原は真実味を感じた。ひよっとすると

このシャワーを大事に、しかも真面目に取り扱ってくれるかもしれない。松原は、焦る気持ちを押しやって、

「すみませんが。どちら様ですか？」

「あっ、すみません。ついつい話が先になって。」

と傍らでやり取りを聞いていた年配の男性が、内ポケットから名刺入れを取り出し、その1枚を松原に差し出した。

そこには松原が見たこともない会社名が書かれていた。まだ介護業界駆け出しの松原にとって、介護業界の会社名など知る由もない。

会社名を知らないことを悟られまいと、松原は伏目勝ちに名刺を見ながら、

「これまでどのくらい販売されていたんですか？」

と、逆に質問。

相手は、すぐに答えた。

「それほど数は多くないんですが、全国に向けて取り扱っています。」

“それほど”とは、“どれほど”か判らないが、松原の心が動かされたのは“全国”という言葉だった。頭の中で妄想が広がった。

“これまで実際に販売している会社が、全国販売してくれるなら、きっと数は多いだろう”

名刺から目を上げた松原の顔は笑顔になっていた。

気に入った“バケツ一杯”

相手はその松原の顔を見て、商売になりそうだと感じたのか畳みかけるように話を続けた。

「この商品は、これまでよりも値段は手ごろだし、しかもコンパクトで扱いやすい。一番気に入ったのは“バケツ一杯分で洗髪”ですね！」

と、カタログの謳い文句を指さした。

松原は、“リング状シャワー”技術を褒めてもらったのだが、大山が主張する“バケツ一杯”の方が客受けするようだ。

松原は、ブースの方を振り返って大山を探したが、あいにく居なかった。これは困った。一人で取引の結論出しているのか迷った。しかし、ここで有耶無耶な態度を見せると、相手は離れていくかもしれない。ここは時間稼ぎするしかないと思った松原は、

「ありがとうございます。この商品はですね・・・」

と相手の持つカタログを指さしながら商品説明を始めた。くどくどと、なかなか終わりそうにない。

その男性は、そんなことは判っている。判っているから、商談に来たんじゃないかとも言いたげに、あたりを見回している。しばらく時間がたったが、松原の説明は一向に終わりそうにない。しかしまだ、大山の姿はない。

ついにその男性は業を煮やして、話を切り出した。

「一度、九州にお伺いして、お話を詰めたいのですが。いつ頃が良いでしょうか？」(次号へつづく)

初めての特許取得

NPOが、初めて特許権を取得しましたので、その概要をお知らせします。

1. 特許番号 第 5531181号
2. 登録日 平成26年 5月 9日
3. 権利期間 平成41年 7月13日
4. 発明の名称
「体液吸収性物品の装着用補助具」
5. 発明者 大山 美智江
6. 権利者 NPO福祉用具ネット
7. 権利の範囲

「少なくとも下面を含む2面が開放し、この開放した下面から内部に手繰り状に体液吸収性物品の外装側を收容する空間を構成する略半筒状周壁を備え、この略半筒状周壁を弾力性を発揮する素材で形成したことを特徴とする体液吸収性物品の装着用補助具。」

8. 解説

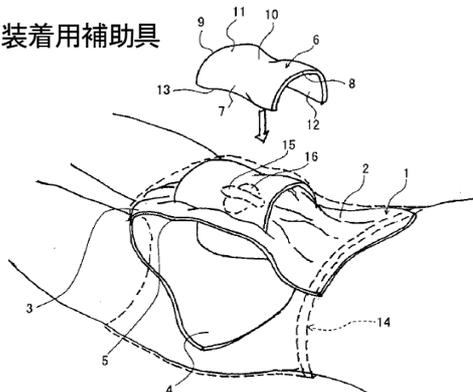
皆さんは、おむつの“横漏れ”で悩んだことはありませんか？ちゃんとおむつのギャザーを鼠蹊部に沿わせてセットしたのだけれど、翌朝になると寝間着やシーツに漏れ出ている経験はありませんか。

特に男性の場合、寝ている間に陰茎がうろろと散歩をして、思ってもない方向に排尿していることがあります。この横漏れは側臥位の場合に多いようです。

側臥位では、きっちりとセットしたおむつでも、おむつ前部が膨らむように弛んで、陰茎周りに大きな空間ができ、陰茎が垂れ下がってギャザーの方を向くため、鼠蹊部に向かって放尿が行われ、おむつの中心部分の吸収能力が十分発揮されません。

この現象を防止するためには、たとえ側臥位状態でも陰茎が、吸収力の高い中心部分からずれないようにすれば良いのです。

装着用補助具



そこで、大山事務局長は、何度も試作・実験を繰り返して、ついに満足のある半筒状プラスチック製のプロテクター（装着用補助具）を試作しました。

使用にあつ

ては、まず陰茎を上下方向に向け、通常通りおむつを当てたあとに、おむつの上からプロテクターを被せ、そのプロテクターの中におむつを手繰り（たぐり）状に寄せて抱えこまれば装着完了。陰茎は、おむつの手繰られた谷間によって包み込まれるようにして向きが強制され、側臥位でも陰茎先端が下向きに垂れることはありません。このため、尿はプロテクター内のおむつでしっかりと吸収され、横漏れが防止できます。

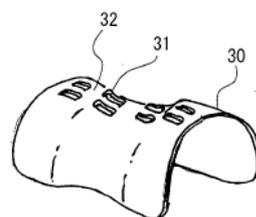
また陰茎全体は、おむつでしっかりと優しく包まれているので、痛覚も生じません。

9. 権利の活用

施設等で臨床試験をおこなったところ、漏れもなくまた不快感もないとのことで、患者様や介護される方から喜ばれております。

実用化するには、高額なプラスチック成型用金型を製作をする必要があります。現在、商品化に向けて金型代の工面の検討を進めております。

また、「ムレ（蒸れ）」を心配される方もおられますので、通気窓をたくさん開ける改良も進めております。ご期待ください。



ムレ抑制用の通気孔

10. NPOのこれまでの発明

これまでに大山事務局長は、5件の発明が出願されておりますが、そのうちの4件は開発支援先企業から出願したもので、NPO福祉用具ネットとして単独で出願したのは、今回が初めてでした。会員の皆様も、「これはすごいぞ！」と感じたアイデアは、ぜひ事務局までご相談ください。

(坂田)

事務局だより

〈4月から6月までの事務局のうごき〉

4月

- 3月22日から4月12日まで、介護施設にて、毎日、朝夕2回訪問し検証実施
- 4月3日 開発会議（北九州市）
- 4月10日 事例相談のため施設訪問（田川市）
- 4月11日 理事会開催
- 4月15日 福岡市城南区福祉用具事業所からの依頼
出前講座 排泄ケアセミナー開催
- 4月16日 NEDO 助成金説明会出席（福岡市）
- 4月17日 大阪バリアフリー展（大阪）
困難事例支援のため在宅訪問（大阪）
- 4月18日 大阪バリアフリー展（大阪）
開発相談
- 4月19日 大阪バリアフリー展（大阪）
FJC 協会様とのセミナー打ち合わせ
- 4月21日 開発相談（東京）
- 4月22日 会計監査
- 4月24日 介護施設訪問（飯塚市）
検証結果報告のため
- 4月25日 第1回福祉用具研究会
排泄ケア用品のまとめ
- 4月26日 福祉住環境コーディネーター協会主催施設見学会同行。社会福祉法人 絆の会
療養介護事業所ひなた家（北九州市）
- 4月28日 開発相談（長崎）
- 4月30日 開発相談（事務局）

5月

- 5月1日 開発相談（事務局）
- 5月2日 開発会議（事務局）
- 5月7日 介護施設訪問（飯塚市）
- 5月10日 平成26年度通常総会・理事会
・交流会【介護美容について】・懇親会
- 5月12日 法務局及びNPOセンターに事業報告や会計報告など関係書類提出
研究調査の打合せ（事務局）
- 5月13日 交流会アンケート結果の取り纏めと報告
- 5月15日 開発品モニターの依頼（別府市）
- 5月19日 開発相談（東京）
- 5月22日 第2回目福祉用具研究会
入浴用品について
- 5月23日 福祉住環境コーディネーター協会見学会
同行。総合せき損センター（飯塚市）
- 5月26日 西日本展示会との打ち合わせ（事務局）
- 5月27日 開発品モニターヒヤリング（別府市）
自動排泄処理装置使用説明（別府市）
- 5月28日 ヘルスケアサービス産業創出研究会にて
講演 テーマ「福祉用具開発に携わってみてきた

役割と課題について」（福岡市）

6月

- 6月5日 研究調査会議（福岡市）
- 6月6日 開発相談（事務局）
- 6月11日 HAMIQ 総会出席（福岡市）
- 6月13日 福祉住環境コーディネーター協会主催見学会同行。長崎リハビリテーション病院（長崎市）
- 6月14日・15日 介護技術セミナー開催
【健康増進のためのポスチャリングケアPart1&2】
講師 大淵哲也氏
- 6月26日 第3回福祉用具研究会 浴室について

ご寄附の報告

5月10日のNPO福祉用具ネット通常総会の日に、田川市伊田の割烹・小料理店「妙」の店主、毛利妙子様より2万円をご寄附いただきましたことをご報告させていただきます。

介護技術セミナー&交流会の予定

- 7月26日 【老いの観方・感じ方～認知症ケア～】
講師 宅老所よりあい代表 村瀬孝生氏
- 8月2日 第2回交流会「認知症の人をささえる～ケア・後見・看取り～」講師 熊本学園大学大学院教授・博士 豊田謙二氏（NPO福祉用具ネット理事長）
- 8月30日 【排泄ケアやおむつの選択を通して、一人ひとりの暮らしを支える～その視点と用具について】・講師 むつき庵代表 浜田きよ子氏
- 9月19日・20日・21日（3日間）
【動作介助とポジショニング技術 フォローアップコース&技術習得コース】・講師 うるば高知代表 下元佳子氏
- 12月6日 第3回交流会「介護ロボットの最新情報」
講師 NPO福祉用具ネット副理事長 坂田栄二氏（九州ヘルスケア産業推進協議会コーディネータ）

福祉用具展示会情報

福祉用具はカタログだけではわからないことがたくさんあります。実際に見て・触って・体験しましょう。

10月1日・2日・3日 東京国際福祉機器展

11月7日・8日・9日 西日本国際福祉機器展

【平成26年度会員募集と更新手続きのお願い】

新規会員を募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

個人正会員 入会金 1,000円 年会費 4,000円

団体正会員 入会金 2,000円 年会費 30,000円

賛助会員 1口 3,000円

尚、会員の方で26年度の更新手続きをされていない方は早めに更新の手続きをお願い致します。